

§4 区役所どうですか？

このコーナーでは、区役所の取組を掘り下げて紹介します。今回は、運営方針の自己評価です。

1 運営方針の“自己評価”結果にご意見を！

☆区運営方針とは

淀川区では、施策・事業によりめざす成果（市民生活の質の向上等のアウトカム）を明らかにした「淀川区運営方針」を策定し、この運営方針に掲げた施策・事業の有効性とめざす成果（アウトカム）の達成状況を評価し、必要な改善・見直しを行うことで、PDCA サイクルの徹底に取り組んでいます。

このたび、24年度の淀川区運営方針に掲げた施策・事業の自己評価を行いました。

自己評価の結果は、淀川区役所ホームページをご覧ください。

<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/page/0000184189.html>

評価シートは、様式1から7まであります。ここでは様式3・5を中心に説明します。

様式3は、「1 重点的に取り組む主な経営課題」の達成状況を表示しています。

○ 具体的取組の業績目標の達成状況

(※具体的取組とは、戦略の実現に向け、実施する取組・事業を表す)

達成状況	件数(割合)
(1) 目標を上回る達成	5 (9.3%)
(2) 目標を概ね達成	41 (75.9%)
(3) 目標を達成できなかった	8 (14.8%)
うち (i) 取組は予定どおり実施した	5
(ii) 取組を予定どおり実施しなかった	3
計	54 (100.0%)

○ 戦略のめざす成果（アウトカム）の達成状況

(※戦略とは、課題解決に向け、展開する施策を表す)

達成状況	件数(割合)
A アウトカムの達成に向け極めて順調に推移している	1 (6.7%)
B アウトカムの達成に向け順調に推移している	12 (80.0%)
C アウトカムの達成に向け必ずしも順調とはいえない	2 (13.3%)
計	15 (100.0%)

○ 戦略のめざす成果に対する有効性

有効性と対応	件数(割合)
ア 有効であり、継続して推移する	11 (73.3%)
イ 有効でない具体的取組を見直す	3 (20.0%)
ウ 有効でないため、戦略を見直す	1 (6.7%)
計	15 (100.0%)

イ：2-1 災害に強い安心なまちづくり、2-5 健康づくりのうねりを地域から～すこやか夢ちゃんプロジェクト～、3-2 地域力強化に向けた組織体制づくり

ウ：1-2 地域活動団体間の連携の推進

様式5は、24年度の戦略及び具体的取組の取組実績を踏まえ、各目標の達成状況を判定し、戦略ごとに取組の有効性や課題・改善策を明らかにするものです。以下、代表的な戦略、取組を取り上げて簡単に説明します。

1. [戦略1-1:まちづくり活動への市民参加の拡大]

この戦略には、4つの具体的取組があり、そのうち【地域活動協議会の設置に向けた支援】は、目標の3地域を上回る16地域で達成できました。残りの3つの取組も概ね目標を達成できました。

戦略のめざす成果（アウトカム）は、例えば、地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合が、平成26年度までに60%以上に対し、24年度は31.1%でした。

2. [戦略2-1:災害に強い安心なまちづくり]

この戦略には、5つの具体的取組があり、そのうち【災害場所等周知事業】は、目標を上回る達成状況でした。しかし、【中学生による防災区民会議】と【安全・安心なまちづくり事業の調査研究】は、取組を予定どおり実施せず、目標を達成できませんでした。残りの2つの取組は概ね目標を達成できました。

戦略のめざす成果（アウトカム）は、例えば、区役所で危機事象ごとの計画やマニュアルが作成されていることを知っている区民の割合が、平成26年度までに80%以上に対し、24年度は40.5%でした。

3. 【具体的取組2-6-3 学校選択制の推進】

この取組は、目標として各小学校下（17校）で、タウンミーティングを2回以上行うとしていました。それに対して目標を上回る計71回の説明会を開催し、達成できました。

☆皆さんからのご意見募集！

○質問1

今後、地域活動協議会が、自律的な運営が可能で、かつ、地域経営を担っていけるような団体とするためには、どのような支援を行うことが有効だと思いますか。

○質問2

地域の防災力を高めるためには、区役所はどのような取り組みに力を入れるのが有効だと思いますか。

○質問3

小・中学校とともに来年春から学校選択制の導入が決定しました。今後、円滑な実施に向け、どのような点に留意して取り組むべきだと思いますか。

ご意見は、淀川区役所政策企画課まで。

E-Mail : tl0009@city.osaka.lg.jp Fax : 06-6885-0534